

# 「あと十年、さて何をしようか」

平間 洋一

制服を着られるのもあと十年と過去より未来の方が短くなつてしまった、この二十周年を迎えわれわれは何をなすべきであろうか。戸籍筆頭人として、海上自衛官として、クラス会として、そしていやらしい四十男として。

## 一、女房から断乎主権を闘い取ろう

朝早くから夜遅くまで働かされ、家に帰ればテレビのチャンネル決定権は子供に奪われ、「今月はいくら御小遣がいるの、そんなに、この位で良いでしょう。たばこを止めたら、体に悪いし（表面的理由）、それにお金だって馬鹿ににならないでしょうに（本質的理由）」と給料の全額を召し上げられ、小遣の一万円札を大切にキチント折ってサイフにつめて二十年が過ぎた訳だ。

職場では「かかれ」の号令で動く部下を持った旧大海軍育ちの御家老と、フリーセックスに酔いしおれ自由と権利だけを主張する63型の部下に突き上げられ、両者の言い分が判るだけに、両者の無理をイモの葉を喰いカボチャを喰つて育った小さな体で全部引っかぶりフリー働かされてきたが、「一桁の方ってお固くて、遊び方も知らないのね。ンケートの御夫人記入欄の記入率三〇%、「書けと言って書かないので今回は失礼します」と、一人の女房もコントロールできなくて何ができるかね。「オイ、書け、書かないと離縁だぞ、出て行け」なんて言える奴は居ないのかね。たまには言ってみよう「出て行け」と。何しろ、官舎に入れてもらえるのは自衛官の間だけ、退職したら「出て行け」元え、出て行く」だからね。

さあ、立ち上がる。そして女房から主権を、子供からテレビのチャンネル決定権を奪い一家の独裁者になろう。

しかし諸君、先日新宿駅に五歳と二歳の子供を置き去りにしたのも、生後四カ月の赤ん坊をテレビ局の前に置き去りにしたのも、いずれも妻に家出されたためだそう。な。まだ十年あるし、主権はともかく、家出されない程度に小遣の値上げ程度からぼつぼつやるか。

## 二、旧友を戦列に

多忙なままに、部外に去った級友を忘れてはいないだろうか。誰も忘れていないし諸兄に対しては、あらゆる困難をおかし、最大限の努力をしてきたように思う。

部外の友よ、確かに一行の加筆もないゼロックス、あるいは印刷物の連絡や案内文を受けとったら、これがかって苦楽を共にした仲間の仕打か、「元気でやっているか」と一行位書けるだろうにと、あこがれが強いだけに淋しい気

お話をしてもフィードバックがないし、つまらない世代よ「ね」などと可愛子ちゃんに言われ、「ハッ」と気が付いたら、自分より背の高い息子と十年先の停年が待っていた。「昭和一桁の方って、そんなにつまらないかね」。栗原小巻は無理としても、いしだあゆみや美空ひばりとのロマンスが「女性自身」や「アンアン」を騒がすような奴がクラスから出ないかなア。

英国海軍士官並に、タウゼント大佐やネルソンのように王女に追いかけられたり、大使の奥さんを横取りする位の男はいないのか

大体だよ、「それから、それから……」と歌詞の一節を歌うだけで、八十億から人によっては百五十億円もする国有財産と、百五十〜百六十人の部下のやること総ての責任を取らされる艦長の一日分の給料に相当するギャラを、小娘が貰える経済システムがどうかしているよ。

愚痴を言うのは止めよう。若さを持つ。四十二才で、「吉永小百合」をものにしたら、何んとか大郎という男もいたではないか。

さて、人生の午後二時の諸兄、もう一度、青年士官だった頃の若さと馬鹿さを取りもどそう。仕事の上でも、私生活の上でも。

職場に行っては仕事の奴隷、家に帰れば女房の奴隷、ア持を持ち疎外感に襲われるかも知れないと思う。

しかし、現役のわれわれの実情も理解して欲しい。「戦時でもないのにどうして、そんなに忙しいのか」とも良く聞かれるが、年令的に組織の中核にあるだけに多忙を極めている。それに、案内状一通でも諸兄の場合は大変なんだよ。現役にならば二十〜三十人分をまとめて地区委員に送れば良いが、退職者には一人一人宛名を書き郵便番号を調べ、ある場合には郵便局で重量を測ってという仕事加わり、外国を含め四十通近い郵便物を発送する手間は大変だし、郵便料金も上り、今回の二十周年関係だけで二万円を越えそうだ。

一方、諸兄の会費納入状況はきわめて悪く、永久会員はブラジルの西成君のみという状況だ。

幸い、今回の二十周年を契機とし、八桜誌上にも見られるとおり部外の友から色々と暖かい激励や支援を受け、旧友が続々と戦列に復帰しつつあるのをうれしく思うとともに、この機会を利用して半永久的なクラス会の体制を確立したいと思う。諸兄には停年退職者の就職斡旋も頼まなければならぬ。

しかし、今は何しろ多忙なので、どうか当分は諸兄の方から積極的に近づいてきてくれないか。

## 三、団結の輪を家族に

「書けと言ったのですが、何時までたっても書いてくれないので今回は失礼致します」などとアンケートも書いてもらえない級友。

主権が完全に女房に移ってしまった現在、女房抜きでクラスの団結なんか知れたものさ。「貴男、また遅いんでしよう。クラス会なんか止めなさいよ」の一言のもとに自宅待機。天の岩戸以来、女抜き歴史が存在しない日本で男だけのクラス会なんて無意味だよ。

それに、夫と共に雪深い北国から暑いまた反軍感情の強い沖縄まで付いてきた妻、六年間に五、六回も転校せざるを得なかった子供達のことを考えよう。

また、クラス同志で息子、娘が結婚し仲人もクラスなら結納も仲人への謝礼も安上りでお互に助かるんじゃないかな。

卒業以来、わがクラスの団結は確かに固く、自衛隊内にもユニークな存在となりつつあるが、卒業二十周年というこの記念すべき機会にこの団結の輪をわれわれだけでなく、妻子を含めた家族にまで拡げたいと思う。

「団結の輪を家族に」この言葉を二十周年を迎えるわがクラスの第一のスローガンとして提案したい。

四、わが夢を未来に  
退職後「オイ」と大きな顔をして自衛隊を訪れられるよ

「後輩は育ちつつあるか？」「後輩を育ててきたか？」今こそ各人が各分野で何かしら一つずつでも今後の自衛隊のために、後輩のために、後世後輩から感謝される業績を残すべきだと思ふ。一寸位上からにらまれたって良いではないか、いくらドタバタしたってあと十年だよ。

五、クラス会の基礎を作ろう  
何をやるにも金が問題なのは何時の世も同じ、金がなければ何も出来ない。

雑誌一回で三十万、遺族への養育資金から連絡費で最低年間三十万から四十万は必要だが、全員から集まったとして二十万。しかし退職者の会費納入率は極度に悪く、退職者が増えればいよいよ会費の徴収が困難となる。しかも会員が徐々に現役を去れば通信費は増える一方、今のような活動は財政的にとうてい不可能だ。これを元金が減らず利子だけで補う方式、水交會方式にすると、これもインフレという問題を考慮外としても約五百万から六百万円が必要、すなわち一人当り約三万円を一時に徴収しなければならぬ計算だが、この方法は一寸実現は困難だろうなあ。

一案として退職時に永久会員ということにして二、三万円を徴収する方法もあるが、少ない退職金から徴収するのは心情的には何となく言い出し難い面がある。

しかし、この金銭問題をDRYに、今のうちに解決して

うな人間関係、甘やかすことではない、後輩を教え育てる人間関係を維持してきたであろうか。

上ばかり眺めて暮すヒラメでは大きな顔を出るのは現職の間だけだよ。それに後輩が育たぬようでは自衛隊自体がジリ貧だ。

われわれの古巣を託し得る後輩を育てることが現在何より大切だと思う。

われわれが入校した時、これ程厳しくなると考えていなかったが、防衛予算は厳しく削減され、人件費は五〇%を越え、家庭に例えればエンゲル係数五〇%という貧困家庭に転落してしまつた訳だから。

しかし愚痴はよそう。そして最初の遠洋航海の時ハワイの一世から聞いた貧困のどん底にありながら、食費をつめでも子弟の教育費に当てた苦勞話を思い起こそうではないか。

二十年前、誰が日系アメリカ人から国会議員が出ようと、それも四人も出ようと考えたであろうか。これこそ、一世のわが子の教育に総ての夢を託した教育投資の成果だと思ふ。

この困難な時にこそ、おかゆをすすりボロをまといながらも、子弟の教育という未来に投資したハワイの一世の話をもう一度思い起こしてもらいたい。

おかぬと将来クラス会は資金不足から有名無実の存在となる。退職者の増加によって連絡先は今後増える一方なので、地区委員を核とした地方支部の設置も望まれるが連絡には限度があるので、退職と同時に海上自衛新聞の定期購読者になつてもらいその紙面で連絡するなどの方法もあると思う。

卒業二十年退職者が出はじめ、階級的に差が出てしまつた現在こそ、クラス会の将来を決する大切な時期だと思ふ。諸兄、大いに論じ、この困難を乗り越え停年になつても、出世はできなくともクラス会に出席することが何よりも楽しく、クラスメイトとの交流が何よりも安らぎを得られるものであつて欲しいと願っている。

(統幕学校教官)

